

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(2)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物には保護液として水を使用するものがある。【 】
- (2) 第3類の危険物は蓄熱しないように通期のよい屋外に貯蔵する。【 】
- (3) 水素化ナトリウムは窒素を封入した容器に貯蔵する。【 】
- (4) カリウムの火災の消火方法として、ハロゲン化物消火剤は適切である。【 】
- (5) ナトリウムは青白色の炎を出して燃える。【 】
- (6) ナトリウムはアルカンと接触すると発火する。【 】
- (7) ナトリウムは化学的に不活性でイオン化傾向が小さい。【 】
- (8) アルキルアルミニウムは危険性を軽減するため、水で希釈する。【 】
- (9) アルキルリチウムは空気中の二酸化炭素と反応する。【 】
- (10) アルキルリチウムは常温で固体である。【 】
- (11) 黄リンは水に溶けない。【 】
- (12) 黄リンはハロゲンと反応する。【 】
- (13) リチウムはカリウムやナトリウムよりも比重が小さい。【 】
- (14) 純粋なカルシウムは白色の固体である。【 】
- (15) トリクロロシランは常温で固体である。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(2)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物には保護液として水を使用するものがある。 【○】  
黄リンは水中に貯蔵する。
- (2) 第3類の危険物は蓄熱しないように通期のよい屋外に貯蔵する。 【×】  
屋内の冷暗所に貯蔵する。
- (3) 水素化ナトリウムは窒素を封入した容器に貯蔵する。 【○】  
窒素を封入したビン等で貯蔵、または流動パラフィンや鉱油中に貯蔵。
- (4) カリウムの火災の消火方法として、ハロゲン化物消火剤は適切である。 【×】  
ハロゲン化物消火剤は適応しない。
- (5) ナトリウムは青白色の炎を出して燃える。 【×】  
ナトリウムの炎色反応は黄色である。
- (6) ナトリウムはアルカンと接触すると発火する。 【×】  
アルカンと接触しても発火することはない。
- (7) ナトリウムは化学的に不活性でイオン化傾向が小さい。 【×】  
化学的に活性で、イオン化傾向が大きい。
- (8) アルキルアルミニウムは危険性を軽減するため、水で希釈する。 【×】  
禁水性。
- (9) アルキルリチウムは空気中の二酸化炭素と反応する。 【○】  
空気中の二酸化炭素と反応する。
- (10) アルキルリチウムは常温で固体である。 【×】  
常温で液体である。
- (11) 黄リンは水に溶けない。 【○】  
水に溶けない。
- (12) 黄リンはハロゲンと反応する。 【○】  
ハロゲンと反応する。
- (13) リチウムはカリウムやナトリウムよりも比重が小さい。 【○】  
金属元素の中で最も軽い。
- (14) 純粋なカルシウムは白色の固体である。 【×】  
銀白色である。
- (15) トリクロロシランは常温で固体である。 【×】  
常温で液体である。